

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000010
事業所名	元町グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ・町内会に加入し、地域の情報を得て盆踊りや秋祭り、運動会などの行事に参加したり、緑化活動を通して小学校との交流を継続している。また、例年小学校において「認知症講座」を開催したり、地域の人や家族を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催して認知症の理解を深めている。 ・事業所内でヨガやリハビリ体操などの講座を開き、地域に向けて先進的な取り組みをしている。また、入居者や家族、職員、支援者、一般の人がリレーをしながら一つの襷を繋ぐ「ランとも」に事業所も参加して地域ぐるみの絆を深めている。日常では、散歩や買い物などを通して交流を図っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ・運営推進会議は家族、自治会や老人会役員、警察署職員、介護相談員や地域包括職員の参加を得て、2か月に1回、年6回開催をしている。事業所の状況報告や地域の情報交換、認知症の理解、地域防犯などについて活発な意見交換がされ、運営やサービスに反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ・運営推進会議の他に、認定申請時や困難事例の相談などで担当窓口を訪れ、情報交換をしたりアドバイスを受けるなど協力関係を築いている。 ・豊橋市認知症部会への出席等を通じて意見交換や協力体制を図っている。また、認知症啓発イベントでは、市と協力して参加し、助言やアドバイスの提供もしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ・入居者からは日々のケアの中で意見や要望を聞き、家族からは訪問時や行事の折りに積極的に聞くようにしている。また、写真入りで暮らしの様子を掲載したホーム便りを発行したり、手紙や電話などで聞くようにしている。年3回家族会が開催され、その中に家族同士での交流会もあり忌憚のない意見が交わされている。 ・入居者や家族からの意見や要望は、職員で検討し運営に反映させるようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				